

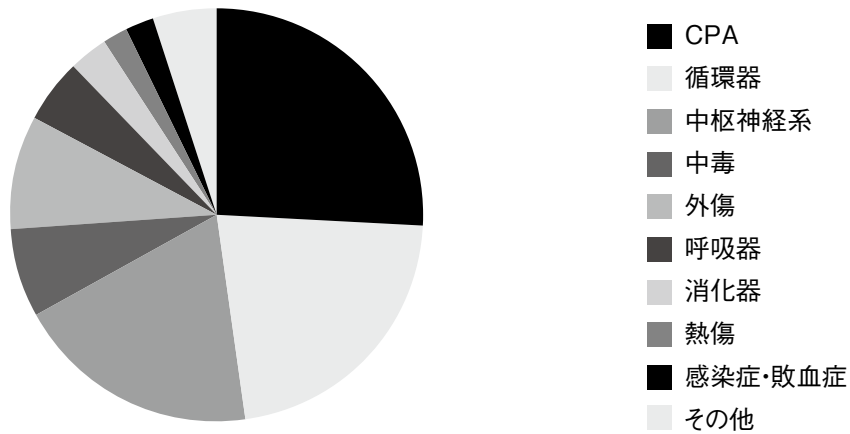
7) 高度救命救急センター

杏林大学救命救急センターは東京都の多摩地区および23区の西部地区にまたがる医療圏の1・2次、3次救急医療の基幹病院として昭和54年に設立され、東京多摩地域全域と東京23区西部をカバーする中心施設としての役割を果たしてきた。平成7年には特に高度な診療機能を有する施設として、厚生労働大臣の認定する全国に10ヶ所ある高度救命救急センターの一つに認定された。現在では全国に284の救命救急センターと、36の高度救命救急センター（東京都内に3施設）があり、事故による多発外傷や心筋梗塞、脳血管障害、重症敗血症等により心肺危機を有する重症の患者、心肺停止状態の患者などを受け入れ治療するという従来の救命センターの使命に加えて、高度救命救急センターに課せられた使命は、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊疾患を専門的に治療することにある。日本各地の救命救急センターから超重症患者（広範囲熱傷や重症感染症など）を受け入れ、我が国の救急医療の最重要拠点としての役割も果たしている。

スタッフ

センター長 山口 芳裕
 師 長 高橋 清子

	患者総数（名）	生存者数（名）	生存率（%）
3次救急搬送 総数	1,845		
重篤患者数	1,355	936	69.1
総数（CPA除く）	1,000	881	88.1
C P A	355	55	15.4
重症循環器系疾患	300	269	89.6
重症中枢神経系疾患	259	212	81.8
重症急性中毒	95	94	98.9
重症外傷	135	126	93.3
重症呼吸器疾患	75	70	93.3
重症消化器疾患	36	28	77.7
重症感染症・敗血症	17	11	64.7
重症熱傷	17	14	82.3
その他	66	57	86.3
その他	42	39	92.9



患者推移

患者動向	2012年	2013年	2014年	2015年
C P A	316	351	364	355
循 環 器	231	219	242	300
中 枢 神 経 系	232	232	211	259
中 毒	80	51	49	95
外 傷	97	100	106	135
呼 吸 器	29	49	20	75
消 化 器	36	20	30	36
熱 傷	21	18	26	17
感 染 ・ 敗 血 症	69	69	69	17
そ の 他	29	54	42	66

